

**製品名: MAP-4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13630**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:10000
分子量	121kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MAP4
別名	MAP4; Microtubule-associated protein 4; MAP-4
遺伝子 ID	4134.0
SwissProt ID	P27816
免疫原	抗血清はヒト MAP4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 662-711

**背景**

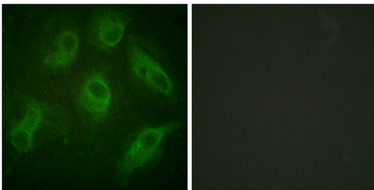
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、主要な非神経性微小管関連タンパク質です。このタンパク質は、神経性微小管関連タンパク質 (MAP2) および微小管関連タンパク質タウ (MAPT/TAU) の微小管結合ドメインに類似したドメインを有しています。

このタンパク質は微小管の組み立てを促進し、間期微小管カタストロフィー促進の不安定化を抑制することが示されています。サイクリン B は、細胞分裂周期 2 (CDC2) キナーゼを微小管に標的とするこのタンパク質と相互作用することが分かっています。このタンパク質のリン酸化は、微小管の特性と細胞周期の進行に影響を与えます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。 [RefSeq 提供、2008 年 8 月],代替製品: 追加のアイソフォームが存在する可能性がある,注意: ここに示す配列は Ensembl 自動解析パイプラインから得られたものであり、予備データとして考慮する必要があります。機能: 非神経性微小管関連タンパク質。微小管の組み立てを促進する。PTM: DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化される (類似性に基づく)。Ser-787 のリン酸化は MAP4 の活性を負に制御し、微小管の組み立てを促進する。アイソフォーム 3 は Ser-337 と Ser-338 がリン酸化される。類似性: 3 つの Tau/MAP リピートを含む。類似性: 4 つの Tau/MAP リピートを含む。

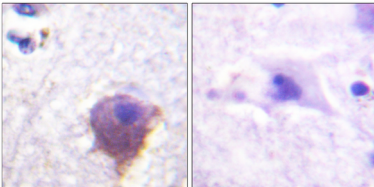
## 研究分野

シグナル伝達; 細胞骨格/ECM; 細胞骨格; 微小管; MT 関連タンパク質; MAP; 細胞生物学; 細胞周期; サイクリン; サイクリン B ファミリー

## 画像データ



MAP4 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



MAP4 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。